



身延清稜小だより

NO. 11

R3. 3. 25

校長 笠井安秀

<学校教育目標>

「進んで学び やさしい心を持ち 心身ともにたくましい児童の育成」

卒業おめでとうございます

令和2年度の卒業証書授与式を3月23日（火）に行いました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためご来賓は保坂教育長さんのみにご出席していただく中での卒業式になりました。

6年生12名は、卒業式という小学校での最後の授業に向け「12人の想いを伝え 新たな扉を開こう」というテーマのもと卒業式に向けて取り組んできました。

自分たちが身延清稜小学校のリーダーとしてどんな想いで下級生と向き合ったのか、1時間1時間の授業にどんなふうに取り組んできたのか。6年生は、その延長線にある卒業式を大切にとらえ、真摯に向き合い、12人の想いのこもった卒業式をつくってくれました。

凜とした6年生の姿に会場全体が、吸い込まれていくような感じさえました。

12人の6年生の皆さん卒業おめでとうございます。

身延清稜小学校は、卒業生の限りない未来をずっと応援していきます。



想いを 引き継ぐ

卒業式を6年生と共につくったのは、6年生と1年間を一緒に過ごした1年生から5年生です。在校生も6年生にとって大切な時間を素晴らしい時間にしようと卒業式に向けて取り組んできました。

在校生から6年生へのお祝いと感謝の気持ちがしっかり届けられ、卒業式を素晴らしい時間にしてくれました。

6年生は卒業しましたが、6年生の想いは在校生に引き継がれ、新しい学年への準備が整いました。



進んで学び やさしい心を持ち

心身ともにたくましい 児童の育成

今年度は、コロナウィルス感染拡大のため4月13日から5月22日までが臨時休校になりました。その後も、いくつかの行事を中止したり、規模を縮小したり、計画を変更したりしてきました。

そのような中、子どもたちは不安なこともあったかと思いますが、日常を大切に、自分たちでできることをしっかりと積み上げ、大きな怪我や大きな病気もなく元気に毎日を過ごすことができました。

児童会は「深めよう 53人の絆」をスローガンに、一人ひとりの想いに寄り添いいつでも真剣に課題に取り組み、「一生懸命頑張る」ことの大切さに気付くことができました。

子どもたちは、友だちとの学びやご家庭や地域の方々のご協力によりそれぞれが大きく成長することができました。

一年間のご協力に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

